

# “大切な花”を咲かせよう



保育所等訪問支援通信 H30-5

子どもの発達支援施設 つづじが崎学園

今年度の通信は“ソーシャルスキルトレーニング”をテーマに挙げてきました。スキルアップのための“トレーニング=遊び”の紹介は今回が最終回です。幼児期に身につけたい対人関係スキルである“ルールを守る”“気持ちを調整する”ができるようになる遊びを紹介します。遊びのルールや順番を守れないために、友達とトラブルになってしまう子がいます。まずはルールを守ることの大切さ、ルールを守ると楽しくトラブルにならずに人と関われることを伝えていきましょう。ルールを守ることの意味が分かって守れるようになることがあります。また、自分の衝動や感情を抑えられずに勝手な行動をとったり感情を直接ぶつけてしまうと、友達とよい関係を築けなくなってしまいます。子どもの気持ちを受けとめ、自分の気持ちをコントロールすることの大切さを教えていきましょう。

通信で紹介したトレーニングや遊びを通して、子ども達がお互いに楽しく気持ちよく関わることができるようになることを願います。

## 風船パレー

身につくスキル

ルールを理解して守る

ねらい

ルールを守ると楽しく遊べることを実感させ、ルールを守ることや順番を待つことの大切さを学びます。また、集中力を養う練習にもなります。

- ① いろいろな色の風船をいくつか用意する。子どもには風船と同じ色の紙を一人一枚ずつ配る。洋服に貼りつけられる紙だと確認しやすい。
- ② 先生と子どもは向かい合って立つ。「自分の色の風船がきたら打ち返してください。違う色の風船を打ってしまったら1分お休みです。端で待ちましょう」と説明する。
- ③ 先生が子どもに向かって風船を打つ。「〇色の風船ですよ」と声をかけながら進める。自分の色の風船をよく見て打ち返せたらよくほめる。
- ④ 違う色の風船を打ちそうになっている子どもがいたら名前を呼んで子どもが自分で気付けるようにする。それでも違う色の風船を打ったら、ルールを確認し、1分経ったら再開する。

### ★ポイント★

ルールが理解しづらい子や守れない子の色の風船を前半で多めに打つ。後半に向かって徐々に頻度を下げて待つ時間を作っていく。

### 毎日の生活につなげよう！！

日常生活でもルールを忘れたりルールを破ってしまいそうな場面があったら、大人が先回りして声をかけてルールに気付かせる。そして、ルールが守れたらよくほめる。



## タイマー鳴るまで我慢ゲーム

身につくスキル

自分の気持ちをコントロールする

ねらい

“待つ”という行為を具体的に理解し、慣れさせます。タイマーが鳴るまで我慢するトレーニングで、“我慢できる”という自信を持たせていきます。衝動的な行動を抑える力をつけましょう。

- ① 床、地面にラインを引く。子どもはラインの前に一列に並び、「タイマーが鳴ったら自由に走って体を動かしていいよ。ただし、タイマーが鳴るまでは静かに待っていてね」と説明する。
- ② タイマーを10秒から30秒の間でセットする。タイマーが鳴るまで待てるように「まだですよ」と声を掛ける。
- ③ タイマーが鳴って子どもが走って気持ちを発散できたなら、再び集合させる。
- ④ 「鳴るまでしっかり待つことができているよかったですね。タイマーが鳴る音をきちんと注意して聞くことができました」と待てたこと、指示に従ったことをほめてフィードバックする。



待つことができたね！音をきちんと聞けたね！



### ★ポイント★

タイマーが鳴った後は走ったり動いたりするなど動きのある活動をする。静と動を意識させること、気持ちを発散させることが大切。

### 毎日の生活につなげよう！！

慣れるまではタイマーの残り時間が分かるようにしたり、歌をうたって待つようにするのもよい。日常生活の中でも順番や決められた時間を待てたときには、しっかりほめる。

【 発達障害の子をサポートするソーシャルスキルトレーニング実例集 監修：腰川一恵 山口麻由美 】

10月26日、山梨県立文学館にて“平成30年度保育所等訪問支援研修会”を開催しました。当日は保育士、幼稚園教諭、支援学校教諭、相談支援専門員、行政職員、学生など計60名が参加。県内6事業所からの事例発表を聞いて、当事業の理解を深めていただきました。また、東京都足立区うめだあけほの学園園長加藤正仁氏による記念講演を開催。「子どもを中心に家族、園・学校、支援機関が同じ方向を向くことが大切。地域の子育て力を向上させるために自分の立場でどう関わられるかを考える」という言葉が印象的な熱い講演でした。当園としてできること…。“気づきの段階”からの支援として当事業がより利用しやすくなるように、今後も行政に働きかけていきたいと思いをしました。

児童発達支援センター つづじが崎学園  
地域支援事業部 保育所等訪問支援  
〒400-0013  
山梨県甲府市岩窪町614番地  
Tel 055-251-7678  
Fax 055-251-7679  
Mail yamamoto@tutuji.or.jp  
担当：吉岡かよ 山本かほり 内藤知子

★おねがい★ 感染症の流行する季節となりました。園で罹患している児が多くいる場合は、訪問を延期させていただきます。連絡をいただくと幸いです。